

令和7年度 学生FD CHAmMiT 学部で対応可能な意見に対する報告書

学生意見の集約

実施日	実施内容
令和7年6月26日	【具体的な実施方法】2グループに分かれてKJ法、二次元展開法を実施し、問題点を抽出・整理した後、全体で情報共有した。2回目のワークでは、関係の事務課職員も出席し、全体の意見をまとめる作業を行った。
令和7年7月3日	

学部で対応可能な意見

※学生FD CHAmMiT当日、以下の内容を基に、参加学生からご説明いただきます。

学生からの意見（学部・学科の問題）	対応済	対応中	問題解決のプロセス
<p>1</p> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学事日程発表の早期化</li> <li>・集中講義、オリエンテーション、研修イベント等の開催時期の事前調整</li> </ul> <p>【理由・経緯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学事日程の発表が遅く、他の予定が立てられない。</li> <li>・夏季等に、教職・学芸員課程の科目、学科の集中講義（実験実習含む）が重なり、受講できないことがある。</li> </ul>		○	<p>【①問題を解決することで良くなったこと・良くなると見込まれること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受講科目の選択の幅が広がる。（予定が重なることで受講できないという問題がなくなる。）</li> <li>・インターンシップやセミナーなどの学外活動の予定が組みやすくなる。</li> </ul> <p>【②問題を解決するための具体的な方法・必要な資源（ヒト・モノ・情報）など】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学事日程が決定次第、素早く発表する。日程の決定を早期に行う</li> <li>・集中講義は、具体的な日程を開示する時期を明確化する。</li> <li>・集中講義の必要性の見直し（通常授業への移行）</li> </ul> <p>【③問題を解決するにあたっての課題・ハードル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予定が決まった時点で学生にアナウンスをしてもらうことで解決でき、実施のハードルは低いと考える。</li> <li>・教職員間の連携強化</li> </ul>
<p>2</p> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・wifi未設置の場所があり、電子機器を使用する講義が増加する中で不便を感じる場面がある。</li> <li>・コンセントが座席に備わった講義室が少なく、上記と同様に不便を感じる場面がある。</li> </ul> <p>【理由・経緯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨今、電子機器が広く普及していく中で学習効率を高めることが可能となった。それらを活用するためにも、使用する環境の整備が必要であると考える。</li> </ul>		○	<p>【①問題を解決することで良くなったこと・良くなると見込まれること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートパソコンやタブレット端末等の電子機器の活用により学習の効率化が図れる</li> <li>・学生は、各自が保有する媒体でスライドを見ることにより誰もが一番良い環境で講義を受けることができる。</li> </ul> <p>【②問題を解決するための具体的な方法・必要な資源（ヒト・モノ・情報）など】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置費用及び設置工事</li> </ul> <p>【③問題を解決するにあたっての課題・ハードル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多大な費用が必要となるため、資金面でのハードルがある。</li> <li>・工事に伴い、講義室の使用ができない期間が生じるため、夏休み等に工事をするか代替教室が必要となる。</li> </ul>
<p>3</p> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本館エレベーターとエスカレーターの講義移動時の混雑</li> </ul> <p>【理由・経緯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エレベーターやエスカレーター混雑による遅刻</li> </ul>		○	<p>【①問題を解決することで良くなったこと・良くなると見込まれること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義移動の際の人の流れが改善される。</li> <li>・本来、必要としている人（車椅子利用者など）が利用できる。</li> <li>・授業に遅刻しなくなる。</li> </ul> <p>【②問題を解決するための具体的な方法・必要な資源（ヒト・モノ・情報）など】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エレベーターの停止階の調節（上層階移動用と各階停止用に分ける）</li> <li>・エスカレーター利用の意識改革（1列で片側空けを止めて、2列で立ち止まって乗る）</li> </ul> <p>【③問題を解決するにあたっての課題・ハードル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エレベーター停止階を変更するには費用がかかる</li> <li>・学生の意識だけで変えるのが難しい</li> </ul>

## 令和7年度 学生FD CHAmiT 学部で対応可能な意見に対する報告書

学生FD CHAmiT（令和7年9月14日(日)開催）後に改善した意見

学生からの意見（学部・学科の問題点）	改善内容
1 学事日程発表の早期化	学生からの意見を受け、次年度の授業日程に関する学部内での協議を前倒して実施し、例年よりも早い令和7年12月に日程を決定いたしました。 決定した日程については、公開準備が整い次第、順次公表を行います。
2 Wi-Fi設備未設置箇所への導入	無線LAN環境未整備の箇所について、年度整備計画を作成しております。 令和8年度～10年度にかけて各建屋の実験室・実習室に導入予定。 令和8年度：4号館，6号館，7号館 令和9年度：9号館，10号館，12号館，農場 令和10年度：サークル棟